

25J ミルク発第 286 号
2026 年 3 月 26 日

正会員 代表者 各位

一般社団法人 J ミルク
会長 大貫 陽一
(公 印 省 略)

改訂版・戦略ビジョンにおける見(魅)せる化の推進について(ご案内)

謹啓 平素は J ミルクの事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

J ミルクにおいては、2024年 9 月に改訂版・戦略ビジョンを制定し、酪農乳業が日本の酪農乳業を担っていく将来世代に、持続可能な酪農乳業の未来を受け渡すために、今後、酪農乳業関係者が目指すべき「酪農乳業のあるべき姿」の方向性を示し、その推進については7つのマテリアリティ(重要課題)を踏まえ事業を実施しているところです。

改訂版・戦略ビジョンの推進に向けて、酪農乳業関係者におけるマテリアリティを踏まえたあるべき姿を目指す関係者の実践例の「見(魅)せる化」を図ることで、関係者への推進力となり、ステークホルダーに対しても酪農乳業の持続可能な取り組みの情報発信にもつながる重要な取り組みとなると考えております。

つきましては、2026年度当初からマテリアリティを踏まえた新たな優良事例の創出やこれまでクローズアップされていなかった酪農乳業関係者の実践例を J ミルクのウェブサイトにおいてアウトプットを前提に優良事例として支援し、酪農乳業の持続可能な取り組みの見(魅)せる化を進めることといたしましたので、希望される場合は、下記の内容をご確認のうえ所定の様式にて助成申請賜りますよう貴会会員等へご案内をいただき、事業の参画にご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 実施内容

J ミルクの会員またはその会員等が、改訂版・戦略ビジョンのマテリアリティを踏まえ、酪農乳業の持続可能な取り組みを進めるために取り組む後方支援を行い、その内容を J ミルクサイトで見(魅)せる化する

見(魅)せる化サイト URL

<https://www.j-milk.jp/sustainability/> (2026年3月26日公開)

2. 事業への参加要件について

- (1) J ミルクの会員及びその会員等の酪農乳業関係者が中心となる実施するもので、取り組みの見(魅)せる化を必須とします。
- (2) 7つのマテリアリティのうち、特に①GHGの削減、②労働者の安全・権利、③アニマルウェルフェア、④見(魅)せる化のうち循環型酪農の推進及び地域社会への貢献を対象として支援します。(応募多数の場合は、より見(魅)せる化につながると判断される取り組みを採択します)

- (3) 支援者数は、5 事業者、各 100 万円(税抜)/年を上限とし、1～2 年間までの取り組みを支援します。
- (4) 機械・機器購入等のハードは対象外とし、仕組みづくりの後押しとなるソフトの経費を対象とします。
- (5) 2026 年 5 月末までに J ミルク関まで別紙様式1にてメールにて申請をお願いいたします。
- (6) 取り組みの対象期間は、
1年間の場合は、2026 年4月2027 年3月末まで
2年間の場合は、2027 年4月から2028 年3月末までを対象とします。
- (7) 6 月中に助成対象の可否についてお知らせいたします。

3. 本事業のお問い合わせ先・申請書送付先

一般社団法人 J ミルク 生産流通グループ 関 芳和
TEL03-5577-7493 E-mail y-seki@j-milk.jp

以上